子どものための教育・保育給付認定申請書（兼児童台帳）

令和　　年　　月　　日

北上市長　様

申請保護者氏名

次のとおり、子どものための教育・保育給付に係る認定を申請します。

申請に係る小学校就学前子ども	氏　名	生　年　月　日	性　別	障がい者手帳の有無
	（ふりがな）	令和　年　月　日	男・女	有・無

保護者 住所・連絡先	（現住所）			
	転居の予定がある場合 転居予定日　令和　年　月　日頃	転居後の住所		
	（連絡先電話番号）	その他連絡先	父　携帯電話 母　携帯電話 （　　）連絡先	
支給認定証番号	※		※１号　２号　３号	※標準　短時間
保育の希望の有無	(有)　：保護者の労働又は疾病等の理由により、保育の利用を希望する場合（幼稚園等との併願を含む。） 無　：幼稚園等の利用を希望する場合（保育所等と併願の場合を除く。）			

①世帯の状況（同居している家族全員について記入が必要です）

区分	（ふりがな） 氏名	個人番号 （マイナンバー）	子どもとの続柄	生年月日 （和暦）	性別	勤務先・学校名等	課税基準日（1月1日現在）の住所		摘要
子どもの家庭状況			本人	令和 年　月　日 （　　歳）	男・女		R8	市内・市外	
							R9	市内・市外	
			父	年　月　日 （　　歳）	男・女		R8	市内・市外	
							R9	市内・市外	
			母	年　月　日 （　　歳）	男・女		R8	市内・市外	
							R9	市内・市外	
				年　月　日 （　　歳）	男・女		R8	市内・市外	
							R9	市内・市外	
				年　月　日 （　　歳）	男・女		R8	市内・市外	
							R9	市内・市外	
				年　月　日 （　　歳）	男・女		R8	市内・市外	
							R9	市内・市外	
				年　月　日 （　　歳）	男・女		R8	市内・市外	
							R9	市内・市外	
				年　月　日 （　　歳）	男・女		R8	市内・市外	
							R9	市内・市外	
				年　月　日 （　　歳）	男・女		R8	市内・市外	
							R9	市内・市外	
				年　月　日 （　　歳）	男・女		R8	市内・市外	
							R9	市内・市外	

生活保護の状況	□受けていない　□受けている（　　年　　月　　日開始）
母子・父子家庭	□該当しない　□該当する

②利用を希望する期間、希望する施設

利用を希望する期間		令和　年　月　日から	□令和　年　月　日まで □就学前まで
利用を希望する施設名	第１希望	保育所等利用申込書に同じ	（希望理由）　保育所等利用申込書に同じ
	第２希望	保育所等利用申込書に同じ	（希望理由）　保育所等利用申込書に同じ
	第３希望	保育所等利用申込書に同じ	（希望理由）　保育所等利用申込書に同じ

≪次ページ以降も記入してください。≫　※欄は記入する必要はありません。

③保育の利用を必要とする理由等

	続柄	必要とする理由	具体的な状況
保育の利用を必要とする理由	父	□就労　□妊娠・出産　□疾病・障害	就労、疾病、求職活動の状況など
		□介護等　□災害復旧　□求職活動	
		□就学　□その他（　　）	平均就労時間：　　時間/日 時間/週　※残業・休憩時間は含まない
	母	□就労　□妊娠・出産　□疾病・障害	就労、疾病、求職活動の状況など
		□介護等　□災害復旧　□求職活動	
		□就学　□その他（　　）	平均就労時間：　　時間/日 時間/週　※残業・休憩時間は含まない
希望する利用曜日及び時間		利用希望曜日 （○で囲んでください。）	月　火　水　木　金　土
		利用希望時間	時　　分から　　時　　分まで
希望する利用区分		□保育標準時間	□保育短時間

利用児童の状況

記入者　父　・　母　・　祖父　・　祖母　・　その他（　　）

利用児童の現在の保育状況	□家庭　□認可外保育所　□幼稚園　□保育園　□認定こども園　□その他 利用施設名（　　）

お子さんの健康状況等について、質問にお答えください。（全員お答えください）

- 出産時に異常がありましたか　いいえ・はい（　　）
- 出生時の体重（　　g）、現在の体重（　　kg）
- 首のすわり（　　ヶ月）、歩行開始（　　歳　　ヶ月）
- 健診等でお子さんの発達について言われた事がありますか　いいえ・はい
  どのようなことですか（　　）
- 慢性的な病気はありますか　いいえ・はい（　　）
- アレルギー食材はありますか　いいえ・はい（　　）
- 保育の利用にあたり、健康上、発達上で気になることがありましたら御記入ください。
  [　　]

２～５歳の児童についてお答えください。

- 激しくたたいたり、かみついたり、奇声をあげたりすることがありますか　いいえ　・　はい
- 一箇所にじっとしていられなかったり、落ち着きなく動きまわったりしますか　いいえ　・　はい
- 高いところにのぼったり、急に外に飛び出したりしますか　いいえ　・　はい

留意事項

① 申請をした時点で、北上市が子ども・子育て支援法第20条及び北上市行政手続における個人番号の利用等条例第４条に基づき事務手続を処理するために限って、父母及び生計を一にする祖父母等の直系親族の令和８年度及び令和９年度における地方税関係情報について取得することに同意したものとみなします。

② 北上市は、子どものための教育・保育給付等の認定に必要な北上市の保有する情報（市町村民税、住民基本台帳の世帯情報、生活保護適用状況等）を閲覧し、その情報に基づき、決定した利用者負担額または副食費の徴収免除の情報について、特定教育・保育施設等に対して提示します。

③ 特定教育・保育施設等が安全な保育を提供するために、児童の健康状況や心身の状況等、北上市が保有する情報を施設へ提示することがあります。

④ 保育が必要な事由を認定した方には、原則として30日以内に支給認定証を交付します。ただし、４月入園の場合は、利用決定時に合わせて交付します。

家庭の状況

1　児童の送迎について

送迎する人	□父　□母　□祖父　□祖母　□その他（　　）
送迎方法	□自動車　□自転車　□徒歩　□その他（　　）

2　申込日現在、休職中（雇用が継続している）の方について

休職の理由	□育児休業　□産後休暇　□病気休暇　□その他（　　）
復職予定	令和　　年　　月　　日［利用決定した場合、入所日から45日以内に復職　する・しない］

3　別居の父母について

別居の有無 （世帯分離している場合を含む）	□無　□有（名前　　続柄　父・母　別居理由 住所（居所） 別居期間　　年　　月頃から　　年　　月頃まで・未定）

4　母子・父子家庭の方について

事実婚及び交際相手の有無	□無　□有（相手は利用児童の　□父母である　□父母ではない）		
事実婚及び交際相手の氏名	年齢	住所（居所）	就労状況（勤務先）など

5　別居の祖父母について（亡くなられている場合は記入不要です）

別居の祖父母		氏　名	年齢	住　所	就　労　状　況　な　ど
父方	祖　父		歳		□外勤□自営・農業□無職□入院 □通院□所在不明
	祖　母		歳		□外勤□自営・農業□無職□入院 □通院□所在不明
母方	祖　父		歳		□外勤□自営・農業□無職□入院 □通院□所在不明
	祖　母		歳		□外勤□自営・農業□無職□入院 □通院□所在不明

6　生計を一にする別居のきょうだい（学生等）について

児童との続柄	氏　名	年齢	住　所（居所）	別居の理由	就学等の期間
兄　姉　弟　妹		歳			年　月　日～ 年　月　日
兄　姉　弟　妹		歳			年　月　日～ 年　月　日

7　障がいのある方について（生計を一にする方に限ります）

障がいのある方の氏名	児童との続柄	該　当　区　分
		□身体障害者手帳　□療育手帳　□精神障害者福祉手帳 □特別児童扶養手当の支給対象児　□障害年金等の受給者
		□身体障害者手帳　□療育手帳　□精神障害者福祉手帳 □特別児童扶養手当の支給対象児　□障害年金等の受給者

マイナンバーの記入がない場合、手帳または証書のコピーを提出してください。
※下線部のみ、マイナンバーの記入に関わらず手帳のコピーの提出が必要です。

令和９年度　保育所等利用申込書

令和　　年　　月　　日

北上市長　様

申請保護者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

保育の利用を希望しますので、次のとおり申し込みます。

		氏　名	生年月日	年齢	性別
利用希望児童	（ふりがな） 利用児童		令和 年　月　日	R9.4.1現在 歳	男・女

利用を希望する保育所等名（※１）	第１希望	（希望理由）（例）自宅から近いため、通勤経路にあるため
	第２希望	（希望理由）
	第３希望	（希望理由）
	第４希望	（希望理由）
	第５希望	（希望理由）
	第６希望以降	（希望理由）

※１　０歳児クラスについては受入可能月齢に達している園のみ申込むことができます。

確認事項

１　きょうだい同時申込の場合

希望順位に関わらず同じ施設を利用できるよう調整します。
※同時利用できる園の中で、最も希望順位の高い園で利用決定します。

↓

調整の結果、同じ施設を利用できない
希望する調整方法を選択し、□に✓を入れてください。

↓

□　同じ施設のみ利用

↓

□　同時期のみ利用

↓

入所保留
→きょうだいが同時期に同じ施設へ入所できるまで入所保留になります。

□　別時期でも利用

↓

入所可能な児童のみ利用決定
→入所保留となった児童は、次回の調整から先に入所が決定した児童と同じ施設のみ審査します。

□　別の施設でも利用

↓

□　同時期のみ利用

↓

きょうだい全員がいずれかの園に同時に入所可能な場合のみ利用決定
→１人でも入所可能な施設がない場合は、全員入所保留になります。

□　別時期でも利用

↓

入所可能な児童のみ利用決定
→入所可能な園がない児童は、入所保留となり、次回の調整から希望している施設全て審査します。

◎上記の選択肢に希望する調整方法がない場合は、次の欄に具体的に記載してください。

２　定員超過等により利用できない場合

□　申込を取り下げる（利用希望月の翌月以降の調整から審査対象外となります。）
□　空き待ちをする（令和９年度内に限り、利用希望月の翌月以降も審査対象となります。）